

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904021

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費： 計画内容：実行委員会に対する助成等  ※平成23年度 第30回記念大会
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 おもてなし力の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	オホーツクサイクリング事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	実行委員会	関係課	#N/A	
事業指標	オホーツクサイクリングの開催		#N/A	
事業目標	年1回開催	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	実行委員会に対する事業負担 前夜祭実行委員会に対する負担 受入れ・歓迎事業の開催	1 実行委員会に対する負担 450千円  2 前夜祭実行委員会に対する負担 700千円  3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円  2 前夜祭実行委員会に対する負担 700千円  3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円  2 前夜祭実行委員会に対する負担 700千円  3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円  2 前夜祭実行委員会に対する負担 700千円  3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円  2 前夜祭実行委員会に対する負担 700千円  3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	
	事業費	事業費(千円) 14,500	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
計画事業費	財源内訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	14,500	2,900	2,900	2,900	2,900	
実績事業費	財源内訳	事業費(千円) 14,653	2,750	3,378	2,826	2,831	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	966	2	955	3	3	
一般財源	13,687	2,748	2,423	2,823	2,828		
関連事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数928名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数 848名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数 891名  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 1,155名 212km 1,003名 日帰りコース 152名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 1,040名 212km 880名 日帰りコース 160名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	年度達成率	95%	116%	97%	98%	99%	
	全体達成率	19%	42%	62%	81%	101%	
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	オホーツクサイクリング事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	サイクリスト	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加者数								
【抱える課題やニーズは】	新鮮味が薄れていることから、参加費の軽減を含め、老若男女を問わず参加しやすい体制の検討が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。	① 実施回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	開催当初レベルの参加者の確保、雄武町のPR	② 参加者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1500人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1040人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>69.3%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1500人	実績値	1040人	達成度	69.3%
目標年度	平成24年度										
目標値	1500人										
実績値	1040人										
達成度	69.3%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	実行委員会への負担金支出	オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出									
	前夜祭実行委員会への補助	オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、町民の理解を得ているものと判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、発注品単価の抑制等を実施しており、効率的と判断する。ただし、参加料の軽減等を含め、今後の継続実施に向けた総括的な検証が必要である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	当町からの参加者は毎年30人程度だが、町を挙げての一大イベントとして定着しており、町民の理解を得られているものと判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

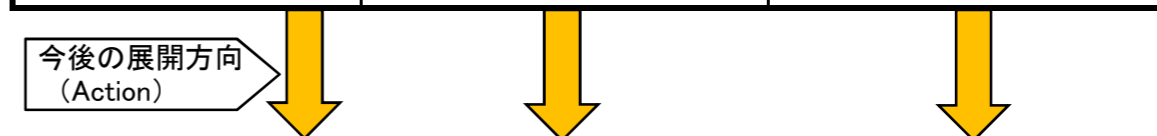
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
新たな取り組みとして、日帰りコースを設置し、参加者は増加傾向にあり、212kmコースはリピーターが多く根強い支持を得ている。町民にも定着しており、開催について理解を得られている。		



継続/現状維持		
これまで実施できた背景には参加者のニーズが高いことが挙げられる。今後の継続実施に向けた総括的な検証を行った上で、継続実施する必要がある。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止